

# 関西大学経済・政治研究所 第243回産業セミナー

聴講無料  
オンライン  
同時配信

事前  
申込制  
先着50名\*

## 【開講の挨拶】

明治の幕開けと共に日本は海外に窓を開いた。そして関西経済の場合、横浜が生糸輸出を中心に欧米諸国との関係が中心であったのに対し、関西経済の中心的な港であった神戸は主にアジアに向けて開かれていった。この傾向は日本の紡績業の中心地として阪神地域が発展する中で、更に顕著なものになった。そして大阪は工業都市として発展を遂げ、大正後期から昭和初期には「大大阪」と表現される時代を迎えた。神戸も日本の主要貿易港として発展を遂げ、関西経済の発展に大きく貢献した。このように関西経済は大阪と神戸を中心に日本経済を牽引する役割を担った。本セミナーはそのような関西経済の歴史を実証的に分析する事を通じて今後の関西経済を考える上での示唆を得る事を目的としている。

本年度のセミナーでは、大正末期の関西経済を支えた紳士録に掲載された人々の活動と近代以降の大阪の多くの労働者の生活を支えた朝鮮米の役割を報告する。いずれも関西経済の発展を歴史的視座から考察する上で有益な知見を提供するものである。

＜近代関西経済の発展とアジア・アフリカの国際関係史研究班 主幹 西村 雄志＞

日時：2020年11月18日(水)13:00～16:10

会場：関西大学 千里山キャンパス 以文館4階セミナースペース

## 【テーマと報告者】

「大正時代末期の関西における紳士たち—『現代紳士録(出身学校別)』に依拠して—」

近代関西経済の発展とアジア・アフリカの国際関係史研究班 委嘱研究員

関西学院大学 商学部 教授

木山 実

「近代大阪と朝鮮米—関西大学＜堂島文書＞から分かったこと」

近代関西経済の発展とアジア・アフリカの国際関係史研究班 委嘱研究員

立命館大学 経営学部 教授

石川 亮太

事前申込制 (対面参加は先着50名\*)

申込〆切：11月13日(金)17:00

↓申込はこちら



右記申込フォームを利用されない方は、氏名・ふりがな・所属・連絡先・参加人数、参加方法(来場 or オンライン配信)、件名に「11/18セミナー申込」を明記し、ハガキ、FAX、E-mailにてお申込みください。

- ◆ 対象者  
経営者、企業・行政関係者、社会人、一般
- ◆ 問い合わせ先  
〒564-8680 吹田市山手町3丁目3番35号  
関西大学研究所事務グループ  
TEL (06) 6368-1179 / FAX (06) 6339-7721  
E-mail: keiseiken0401@gmail.com

※オンライン配信での参加を申し込まました方には、後日、当日のZoom事前登録URL、注意事項等をメールにてご案内します。

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、オンライン配信のみになる場合がございます。その際にはお申込みいただいた方にご連絡いたします。

主催：関西大学経済・政治研究所  
後援：大阪商工会議所  
大阪市工業会連合会  
大阪市産業経営協会  
株式会社りそな銀行

 関西大学  
KANSAI UNIVERSITY

参加者の皆様におかれましては、感染防止策を講じて頂きますようご協力お願い申し上げます。